

午後1時30分開議

**座長（武田なおき）** それでは、定刻となりましたので、第5回議会のあり方検討会を開催いたします。

最初に、資料の確認を行いますので、事務局のほうよろしくお願ひします。

議事課長。

**事務局** 本日の配付資料の確認でございます。

本日の配付資料は、議会のあり方検討会の次第の裏側に一覧が載せてございますので、それに沿って順に説明させていただきます。

まず、議題1の関係の資料としまして、1番、これがA4横長になります。各会派等意見一覧でございます。

続きまして、2番になります。2番が、これは今度は縦になりますが、中身は小林市議会「市民との意見交換会」の実施に関する規程・要領、これがフロンティア旭、それと公明党尾張旭市議団から提出された資料でございます。

3番でございますが、3番は白石市議会意見交換会開催要領でございます。こちらにつきましてはフロンティア旭さんから提供いただいた資料でございます。

次に、4番になります。こちらが、中身としましては尾張旭市議会意見交換会実施要綱（案）でございます。こちらにつきましては市民まちづくりネットからの提供の資料でございます。

続きまして、5番になります。こちらが議会のあり方検討会宿題となっております。こちらが公明党尾張旭市議団さんからいただきました資料でございます。

最後に、6番、その他資料になりますが、これが横長になりますが、議会のあり方検討会スケジュール（案）でございます。

本日の資料は以上でございます。よろしくお願ひします。

**座長（武田なおき）** 資料の確認をしていただきましたが、皆さん、漏れはないでしょうか。

それでは、早速議題のほうに入っていきたいと思ひます。

検討事項について、1、意見交換会のことについてであります。それぞれ資料等を出していただきましたので、それに基づいて、まず、つけ足し、もしくは意見がありましたら、フロンティア旭さんから順番によろしくお願ひします。

**委員（まつだまさる）** はい、すみません。今回2つ出させていただきました。資料3の白石市のほうは、ネット上のヒット件数が高かったんで、上のほうにあったので、多分オーソドックスなスタイルなんだろうなということで提出させていただきました。

もう一つの小林市のほうは、規程と要領と別れていて、なおかつ団体についてちょっと述べてあったものですから、この資料がいいなと思って提出させていただきました。

以上です。

**座長（武田なおき）** それでは、市民まちづくりネットお願ひします。

**委員（篠田一彦）** 資料4をご参照ください。

本件の意見交換会につきましては、当初から言われておるように団体とのということでありましたので、それを意識した形で各市町の意見交換会をどのようにやっておるか、そういうのをいろいろ見させていただきまして、これが尾張旭のスタンダードではないか、尾張旭だったら、これであれば尾張旭で実施できるんじゃないかということで、いろんなところの文章を参考にさせていただきながらつくったものでございます。

ざっとご説明をさせていただきますと、第2条のところについては、委員会単位だよと、お話を聞くんだったら委員会単位になりますよねというようなことがうたってございます。

それから、第3条では、市内に所在する団体が主な方ですよということを定義しています。

それから、同じ方が何度もということでは公平性に欠けますので、第4条でうたってありまして、中身については、市政に関する事、議会に関する事、その他必要と認める事ということで定義をさせていただきました。

1枚はねていただきまして、申し込みがあるというのを前提にしておりますけれども、申し込みがあった場合は、議会運営委員会等において、議会の日程等もありますから、そこでいろいろ日程、会場等は決定をし、進めていくものかなというふうに思っております。

それから、出席は委員会単位ということでありまして、基本は委員会の委員が主になろうかと思えます。

第8条においては、その中の役割を定義しております。

ここから先が非常に私は重要だと思っておりますので、この部分は皆さんでまたご議論をいただければいいかなと思っておりますが、第9条以降については、要は話を聞くだけはいかんでしょうと。話を聞くことはできますので、聞いた後どうするかということ第9条、第10条にて定義をさせていただいております。

第9条以降につきましては、委員会でそれぞれ取りまとめて議長に報告すると。第2項については、市政に対する要望なのか提言なのかというのを議長が取りまとめて執行部側に伝えることは伝えると。

第10条については、議会の対応方針を決めた後で、それをだより及びホームページでちゃんと公開していくというふうに定義をさせていただきました。

意見交換会、1時間程度でいいのかなということでここも定義をさせていただきました。

全てこの文章の中で定義ができませんので、ざっくりこの枠組みだけ決めておいて、あとは議会に関することでございますので、議会運営委員会において協議をしていくというような定義をさせていただいて、要綱という形にしましたが、これは要領でもいいですし、申し合わせでもいいですし、そこは取り計らいに僕はお任せをしたいと思います。

一応こんな感じでまとめさせていただきました。

以上です。

**座長（武田なおき）** ありがとうございます。

それでは、公明党さん、お願いします。

**委員（片渕卓三）** 我が会派からの提案として、事前にフロンティア旭さんと打ち合わせしたわけではなく、たまたま小林市議会というふうな形での意見交換会の要綱を含めて提出をさせていただきました。非常に流れもまたわかりやすいということでの提出であります。

これは、ごらんになって、例えば2番の次ページからの地区別意見交換会という形の開催地区と、また班の編成、また主な内容、内容の詳細含めてずっと時系列に羅列した中で詳しく、わかりやすく記載しているので、これが一つの提案としていいのではないかということであります。

もう1点、できれば、趣旨に反するかどうかわかりませんが、尾張旭市議会において陳情で採択された市議会と市民との対話の項目にありますように、議会報告会の開催を将来的な名称を「議会と市民との対話会」とし、「市民が自由に親近感を覚えるような意見交換会の場としていくこと」と記載をしております。今後そういった方向に向かうために、できれば「議会と市民との対話会」としての開催が望ましいといったものを今後つくってもらえればいいと考えておりますので、提案とさせていただきます。

以上でございます。

**座長（武田なおき）** ありがとうございます。

日本共産党尾張旭市議団、お願いします。

**委員（川村つよし）** ちょっと私のほうは、宿題を取り違えたのか、よそとは違うやり方をしていますが、これはこれでいいのかなとも思っていますけれども、今後議論しなきゃいけない論点は何かなということをやちょっと思いながら、よその議会の実施要領とか要綱は見ずに書いてみました。

ちょっと、今、要綱がこれだけ他会派から出てくると、やる方向なのかなということも感じますが、そもそも続けるのということがまだ結論出ていないような気がしますし、やるとしたらこういうことを議論して整理しておかないといかんかなということを書いておきました。

以上です。

**座長（武田なおき）** ありがとうございます。

つなぐ、お願いします。

**委員（花井守行）** 僕もちょっと間違えたというか、意見があればと思ったんですけども、特にはないんです。強いて言うなら、テーマに沿ってやったらいいんじゃないかというぐらいですので、すみません、ちょっと提出期限も間違えておまして、すみません。失礼しました。

**座長（武田なおき）** 確認ですけれども、それは、テーマを決めてというのは、意見交換会をするに当たって、何かそれぞれちゃんとテーマを決めて意見交換会をしたらどうかと、そういうことでしょうか。

**委員（花井守行）** そうですね。ちなみに三田市のところのこの中、資料を同じ会派からいただいたんですけども、これ、例えばいじめ防止についてとか、そういうテーマで話し合ったらどうかというぐらいのことですので。

以上です。

**座長（武田なおき）** だから、明らかに絶対に毎回テーマでなければいけないということではないけれども、そういういいテーマがあればそれについて意見交換会をすると、そういうようなことを含めて前向きに考えてみると、こういうことでよろしいのでしょうか。

**委員（花井守行）** はい、それでよろしいです。

**座長（武田なおき）** ありがとうございます。

今、ずっとそれぞれ会派からいろいろ意見が出たと思うんですけども、そのことについて、何か質問だとか、その意図はとかということがもしありましたら、ここで先にやったほうがいいかなと思いますので、ありますか。

成瀬委員、どうぞ。

**委員（成瀬のりやす）** この小林市議会にも目的と意義というのがあるんですけども、そもそもなぜ意見交換会をするのかという目的をしっかりと尾張旭らしく明記する必要があるのかなと思います。それが一番大事なことで、これから今後続けていくとすると、どういう目的でやっていくのかということが必要になってくるんじゃないかなと。それを明記されたほうがいいのかと思います。

**座長（武田なおき）** わかりました。

ほかに何かありますか。

篠田委員、どうぞ。

**委員（篠田一彦）** 今、成瀬委員がおっしゃったのは、理念的なことを頭に置いたほうがいいのかということでもいいのかしら。そういう解釈でよろしかったかしら。

**座長（武田なおき）** 成瀬委員。

**委員（成瀬のりやす）** 目的、意義というのはいくつかのことになるんですけども、今後続けていくとすると、やっぱりそういう理念的なものとか、そういうことがやっぱり必要になってくるんじゃないかと思います。

**座長（武田なおき）** 篠田委員。

**委員（篠田一彦）** わかりました。

すみません。それで、大変恐縮なんですけれども、今、各会派のご意見聞いて、ポイントと要点が多分あったと思うんです。ここで勝手にちょっと事務局さんに振って申しわけないんですけども、事前に多分各会派さんから資料をもらって、ざっと目を通されておると思うんで、各会派さんのポイント、ポイント、ちょっと説明の中で僕も聞き取れなかった部分があるので、もしそういうのがポイントで説明ができるのであればお願いしていいですか。

**座長（武田なおき）** ちょっと待ってください。それは、何か、じゃ、逆に言うと、今のことで事務局のほうから回答がありましたら。

**事務局** 今、篠田委員のほうからお話がありました、各会派からいろんな資料をいただいた中と、それと、今、皆さんからお言葉で補足説明があったかと思います。その中で見ていきますと、例えば小林市議会を見ていただきますと、2枚目、はねていただきますと、こちらで地区別意見交

換会、先ほどまつだ委員のほうから言われました地区別意見交換会ということもあります。その地区別意見交換会のことがあったり、それと、こちらの表のほうを見ていきますと、(2)のほうが分野別意見交換会というのがあります。

そういった対象が地区別なのか分野別なのかというのと、その対象の面だけ見ていきますと、小林市議会が地区別と、それから分野別とあります。もう一つ、白石市議会のほうのこの3番の白石市議会意見交換会開催要領、そちらのほうを参考にして見ていきますと、こちらは地区別というふうになってございます。

それと、先ほど公明党さんのほうの意見もありました。これを団体と、それから市民という、そういった考え方もございます。そこの中でいろんな意見がございまして。

それから、当然、こちらのほうの小林市議会にしろ、白石市議会にしろとあります。あと、市民まちづくりネットのほうでつくっていただいた要綱の案ということがありますけれども、ここの中にもいろいろあるかと思っておりますけれども、ただ、開催の時期をどうするかというのが、まだ、今こちらのほうでは何も答えは出ていないと思うんですけれども、ただ、先ほどの小林市議会のほうを見ていきますと、地区別のほうを見ていきますと、年1回というようなことが読み取れてくるかなと。ここで項目の01のところ、開催時期は7月初旬から中旬に実施する、開催回数が各地区において年1回実施というような形。ここで読み取れる限り1回は開催していただきますよと。

あと、分野別のほうを見ていきますと、こちらのほうも開催の時期ということは、ここで必要に応じて開催となっておりますので、これ開催回数が出ていません。必要に応じて開催となっております。

もう一つ、今度、白石市議会のほうを見ていきますと、これは逆に時期までうたってあります。毎年3月中に3日間という、こういったうたい方がされております。

ただ、もう一つ、市民まちづくりネットのほうを見ていきますと、こちらについては、開催時期とか会場については議会運営委員会で協議するというようなことがあって、案として出されております。

こんなところで、対象とか開催時期とか会場なんかを見ていきますと、それぞれ違いがございまして。先ほど公明党尾張旭市議団が言われた団体とか市民、今度は市民に対してとかあります。そんなところもありますので、そういったところ、もろもろのところを整理していただければいいかなと思います。

皆さんのほうからいろんな意見が出ております。当然、内容についてもテーマを設けてとか、それから逆に団体から出されたテーマとか、いろんな各市議会において違った形でも出ております。

白石市議会のほうを見ていただきますと、内容が議会の活動報告、尾張旭市で言っている例えば議会報告会に近いかなと思っております。それから、市民との意見交換、これは地域の現状とか課題、市政への意見、提言等という形で白石市のほうが表記されているかと思っております。

あと、市民まちづくりネットのほうがつくっていただいた中では、委員会からの要請、それか

ら議長が必要と認める場合、それから団体から出されたテーマというような形で、内容についてもまだ具体のものはないんですけども、委員会からの要請テーマ、議長が必要と認める場合、テーマをどうするのか、団体から出されたテーマというような形で出ております。

整理することが幾つか出ているかと思えますけれども、こういったところで幾つか整理していただいて、今後うちのほうはどういった要綱、要領か、言い方がちょっとわかりませんが、どういうルールにしていくかというのが必要になってくると思えますので、その辺のところを皆さんの意見を集約していただければと思います。

以上です。

**座長（武田なおき）** 篠田委員。

**委員（篠田一彦）** すみません、課長。細かいところまでありがとうございました。

何となく、話を聞いておると、地区の話、分野、テーマの話、時期の話、対象をどこにするか、何かこんなようなところがあれかな、細かく整理していく必要があるのかなど。それっぽく川村さんのところもそのポイントにフォーカスしたことが書いてありますけれども、何となくそんな感じがいたしましたので、大変よくわかりました。ありがとうございました。

**座長（武田なおき）** ほかによろしいでしょうか。

川村委員、どうぞ。

**委員（川村つよし）** 小林市議会や白石市議会、きょう配られた資料なので、僕ちょっと事前に目を通してなくて、きょうばらばらと今見たところなんですけど、尾張旭市議会でこの間やってきた議会報告会との重複がどうなのかというのを整理する必要があるというのが1点と、それから、この間、議会報告会の中身も、報告会という、どうしても議員の報告を受けるだけなのかというイメージがあるから、懇談会とかそういう名前に変えたらどうだろうという議論もあったんですけども、その中で、じゃ、今回は懇談テーマはどういう内容ですよ、子育てですよ、福祉ですよとか、そういうふうにやっていったらどうだろうねという意見も議会報告会が進化の中で議論していく必要があるなという議論がこの間あったと思います。

そのこと等もあわせて、今回やった尾張旭の意見交換会とかなりかぶってくるような感じがするので、じゃ、尾張旭としてはどうするのかということをもうちよっと練らないといかんかなという印象を持ちました。

**座長（武田なおき）** ほかによろしいですか。

（発言する者なし）

**座長（武田なおき）** 皆さんそれぞれ出していただいた意見を含めて、もう具体的に意見交換会の要綱づくり、本当にまちづくりネットさんのほうからこういう形で成文化するというような形で、要綱ということになっておりますが、名前はともかくとして、そういうもの、具体的な案というのも出していただいておりますし、ほかの会派から出てきた意見も、今、もちろん整理しなくちゃいけないところもたくさんありますが、それをつくっていくという方向でもう今後進めていくという、そういう確認をさせていただいてもよろしいでしょうか。具体的に。その辺について

よつとご意見を下さい。

じゃ、牧野委員、どうぞ。

**委員（牧野一吉）** 今、座長から要綱なりをつくっていくことでいいかというのは、これはもちろんいいと思っていて、前回から検討の課題が要綱をどういうふうにつくりましょうねと、前向きなことで検討を進めていたと思うので、それは進めていきたいと思いますという私の考えです。

**座長（武田なおき）** ありがとうございます。

ほかよろしいですか。

皆さん、だから、そういう意味でいうと、つくっていかうという方向であれば、当然、これだけたくさんあるものをいろいろ取捨選択しなくちゃいけないと思いますので、とりあえずここに出されたもの、それからそれ以外に、せつかく議運のほうで行っていただいていますので、三田市のやつなんかもありますので、そういうものを参考にさせていただきます、正副座長のほうである程度の素案というんですか、みたいなものをつくって、まず皆さんにお示しをします。今言われたような課題もきちっと明記した上で、そういうことを解決するためにこういう案ですとかというようなことを含めて、きょう出たことをもとにして素案をつくって、12月16日までにはお示しをしたいと、こう思いますので。そしたら、それから一度会派のほうでいろいろ時間をかけていただいて練っていただいて、1月20日ぐらいまでにはそれに対する、素案に対していろいろご意見をいただきたいと。事務局のほうに出してください。

そうすると、事務局のほうでまとめていただいて、こんな点が問題点としてあるよとか、こういう指摘があったよとかいうようなことをやって、次の第6回の、1月中に予定しておりますが、そこでまずあらかたの素案をつくりたいというふうに、そういう形で進めていきたいというふうに思っておりますが、そういう進め方でよろしいでしょうか。

川村委員、どうぞ。

**委員（川村つよし）** 構わないんですけれども、ちょっと乱暴な投げ方かなという感じもしたんですけれども。というのは、さっき僕が言ったように、議会報告会との整理どうするかという方向性がやっぱりある程度はつきりしていて、意見交換会という名前で今までやっていた報告会みたいなのも入れてその中につくっちゃうというやり方も今あるだろうし、あるいは、それとは別個で、やっぱり今までの報告会は報告会であいう形式のやつを続ける、一方で今回尾張旭の市議会でやったような意見交換もやっていくという方法もあるだろうし、そのあたり、何かちょっと整理して、こういう方向で素案つくってくださいと投げないと、2つも3つも何か事務局でつくらなあかんような感じになりそうな気がして、ちょっとふと心配をしたんですけれども、そのあたりはどうでしょうね。

**座長（武田なおき）** はい、どうぞ。

**委員（篠田一彦）** 僕、川村さんのおっしゃることもすごくよくわかるんですけども、ただどなんだね、今回は。

さっき言われたように、地区別の話だとか分野別の話、当然その対象をどこにするのか、対象

をどこにするかで議会報告会との兼ね合いもきつと出てくると思うし、まとめるに当たって、ある程度課題はぼろぼろと出てきたと思うのね。ぼろぼろと。それを踏まえて、ある程度こうしましょうという案を出してもらってもいいのかなというふうにはちょっと僕は思ったんです、実はね。

確かにちょっと乱暴な部分もあるのかなという気もしますが、時期ありきじゃないんだけど、お尻ありきじゃないんだけど、期間を考えると余りキャッチボールをやっている時間も正直ないのも事実なので、そこは、課題の項目だけはある程度出てきたので、この課題について、こういうことでこうしましたという理由づけとある程度の結論が出てくれば僕はいいのかなというふうには思ったものですから、あえてどうこう言うつもりはなくて、正副座長にお任せしようかなというふうにはちょっと実は思いました。

以上です。

**座長（武田なおき）** 片渕委員。

**委員（片渕卓三）** 12月16日までに素案を考えて、来年の1月20日までに素案のご意見をもらおうと、それでまとめ上げる方向性なのかと。それに基づいて来年度こういった形の意見交換会を開催する予定というふうな形でいいのかな。

**座長（武田なおき）** もちろん、そういうことをやるという前提でつくっている以上、来年度はこれでまず試行というのか、本格試行ですよ、やってもらうという前提で議長には答申をしたいと思います。途中経過でここまでしかできませんでしたということでは答申はちょっとまずいなと思いますので、今言われたような形で何とかおさめたいと思っています。

ただ、そのために、本当に申しわけないですけども、篠田委員が言われたように、お尻が決まっているものだから、ある程度詰めてやっていかないかんというふうには思っています。

ただ、何が何でもこの回数で、1月の最後のところで議論終結しようなんては思っておりませんので、それは出てきた課題に応じてきちっとやっていかなくちやいけないというふうには思っています。

川村委員、よろしいでしょうか。はい、どうぞ。

**委員（川村つよし）** やっぱりある程度合意点をつくっておかんといかんと思うんだけど、僕は、議会報告会は報告会としてそれは進めると、今回やったような意見交換会をやっていくよということを、来年もやるよという前提で今回のやり方を整理するとどういう中身になるのかなという整理の仕方のほうが。それはいずれ、今回意見交換会として議会報告会を意見交換会とあわせていくというのは、いずれそういう方向性はあったとしても、とりあえず別々で整理するよというふうにはしないとつくれないかなという気もするんですけども、現状、ちょっといろんな意見が出そうなので、一緒に考えていこうというふうになると。それがちょっと僕の頭の中です、今はそれは。

**座長（武田なおき）** そのことに関して、何かご意見ありますか。

**委員（川村つよし）** そういう理解でいいかなという合意だけはしておかないといけないかな。



座長（武田なおき） だから、少なくとも今回、将来的に意見交換会と議会報告会はどうするかというところまで踏み込んだら、また話がどこかへ行ってしまうので、とりあえず意見交換会をやるならこういう形でやりましょうということに今回しましょう。

その上で、また次の課題として、じゃ、今後意見交換会はどうするんだということについては、それは申しわけないですけども、次年度の課題というか今後の課題ということにするということで、とりあえず意見交換会をやるならばこういう形でやってみませんかという、そういうところで話を進めたいということで、そういう合意をさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

座長（武田なおき） 川村委員、よろしいでしょうか。はい。

じゃ、そういう確認で、少なくとも素案をつくらせていただきますので、それをお示しさせていただきますので、1月、くれぐれも、花井さん、この日にちをお間違えにならないように。

委員（花井守行） 20日までに意見を。

座長（武田なおき） 1月20日までに意見を必ず事務局へ送ってください。

委員（花井守行） 意見がなくても意見。

座長（武田なおき） もちろん。だったら……

委員（花井守行） 意見なしで……

座長（武田なおき） ないというか、素案でいいですという回答を出してください。そうでないと、一体どういう意見があったのかというのがわかりませんので。そういうことを含めて1月20日までによろしくお願いします。

牧野委員、どうぞ。

委員（牧野一吉） 今のことで、きょうの進め方はいいと思います。

あえてもう一度発言させてもらいますけれども、先ほど篠田委員のおっしゃった、ここだけは、例えば開催の時期ですとか回数、これはどういう考え方からそういうふうにしたんですよ、あるいは、対象は団体さんなのか市民なのか、分野ごとなのか地域ごとなのかとか、そこも素案には入ると思うので、これもどういう考え方からこういうふうな素案をつくったんですよと、テーマの設定に関しては、同じようにどういう考え方からこういうテーマの項目についてはこうしましたということ素案の中で、事細かく書けという意味ではなくて、そのの意味合いを委員皆さんに説明できるような素案にしてもらいたいなという、ここだけは要望でお願いします。

座長（武田なおき） わかりました。ただ単に字づらが整っているやつを出すんじゃなくて、何でこうなったのかということちゃんと説明をして、そうすると会派の中で議論がしやすいですね。はい、わかりました。

じゃ、そういうことに努めて頑張りますので、よろしくお願いします。

ほかよろしいでしょうか。

（「期待しています」の声あり）

座長（武田なおき） はい。頑張ります。

それでは、次回、第6回の開催日についてちょっと調整をしたいと思いますので、日程のわかるものをお出してください。

大丈夫ですか。

(「電源切っているのでちょっと」の声あり)

座長(武田なおき) わかりました。暫時休憩とは言いませんので。

(発言する者あり)

座長(武田なおき) よろしいですか。

(「はい」の声あり)

座長(武田なおき) それでは、皆さん、1月30日月曜日9時半からいかがでしょうか。月曜日。いいですか。

(「はい」の声あり)

座長(武田なおき) それでは、議長の日程等も含めて調整が1月30日で行いますので、1月30日月曜日9時半からということで第6回議会のあり方検討会を行うということで決定したいと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、議題1は以上で終わりましたけれども、議題2、その他として何かありましたら。ありませんか。事務局のほうもよろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

座長(武田なおき) それでは、これにて議会のあり方検討会第5回目を終了させていただきます。

午後2時1分散会